

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス Colorful Kids First				公表日	2026 年 3 月 6 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・適切である ・一階にスタジオがあり、利用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・適切な人数を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・導線を確保している ・室内には段差が無く、トイレもスロープになっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日、清掃をし玩具等の消毒を行っている ・触れている所、物の消毒を行っている	・今後も清潔を保つようにしていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・活動や宿題に集中出来るよう、パーテーションで区切り、取り組めるようにしている ・必要に応じてパーテーションで区切るようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・その都度話し合いを行い、業務改善に努めている ・会議等の話し合いの場を設け、業務改善に努めている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		・評価に基づいて、業務改善に繋げていく ・保護者からのヒヤリングを行い、業務の見直しをするようにしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・その都度不明点などを聞き、ヒヤリングを行い業務改善に繋げている ・会議や終礼を行い、その都度話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		・第三者による外部評価を行っていないので、今後は視野に入れていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・1ヶ月に1回の研修を行っている	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・5領域に準じて作成し、HPIにて公表をしている ・5領域に則ったプログラムになっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・支援計画を立てる上で、保護者からのモニタリングを行い作成している ・モニタリングを行い、ニーズや課題の分析をしている	・今後も子どもや保護者のニーズや課題を分析し、支援計画書を作成していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・毎月カンファレンスを行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・毎月カンファレンスを行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・保護者へのモニタリングを行い、子どもの特性を考えた上で支援内容を設定している ・保護者の聞き取りを行い、特性に合わせた支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・毎月のプログラムを話し合い、立案を行っている ・職員間で毎月のプログラムを話し合っている	・考えが偏らないよう、職員間で話し合い様々な立案が出来るよう今後も行っていく

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・プログラムが偏らないよう、職員間で考え、様々な立案が出来るようになっている ・固定しないように工夫している	・職員間で話し合いをし、プログラムが固定しないように今後も工夫していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・子どもの特性を把握した上で、支援を行い支援計画を立てている ・状況や特性に合わせて、計画書を作成・支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・職員間で打ち合わせを行い、連携・支援を行っている ・事前に打ち合わせを行い、個々に合った支援を行っている	・今後も事前に打ち合わせを行い、個々に合わせた支援を心掛けていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・毎日の出来事を報告し、振り返りを行っている ・送迎時の保護者へのフィードバック内容を共有している ・終礼での情報共有を行っている	・今後も次の支援に繋げられるよう、情報を共有していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・日報やお帳面に個々の様子を記録している ・送迎時、面談時の保護者からの相談などを記録している	・記録は全職員が目を通すよう徹底し、統一した支援が出来るようにする事で、検証・改善を行うよう引き続き行っていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・送迎時に保護者と話す時間を設け、モニタリングを日々行い、計画作成時にもモニタリングを行っている ・送迎時や用紙を用いてモニタリングを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・子どもたちそれぞれの特性に合わせて支援を行っている ・自分で考える力を養う為、選択が出来るようにしている	・今後も子どもたちが自己決定をする力が養えるよう支援を行っていく
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・担当者会議には児童発達支援管理責任者、知識があり子どもの特性・状況を把握した職員が参画している	・全職員がしっかりと子どもの状況を把握し、責任を持って会議に参画出来るようにしていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・委託医との連携	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・保護者が仲介となり連絡等を行っている ・事業所から学校に長期休みや懸念期間など確認を行っている	・いきいきを利用している子どもが多いため担任の先生との情報共有が難しい場面が多い円滑に情報共有が出来るような方法を模索・施行するようしていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	・相談支援員や他事業所間での就学前の情報共有はあるが、園との情報共有は出来ない ・保護者からの聞き取りを行っている ・事業所間ではケース会議などで情報交換を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	・該当する児童が居ない	・該当する利用者が居た場合は進学に向けての情報共有も視野に入れておく ・移行する児童がいた場合は積極的に情報を共有していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9		・助言を受ける機会を設けていないので、今後は機会を設けるようしていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	・月1回のSecondとの交流はある ・戸外遊びやイベントで出掛ける際に交流がある ・放課後児童クラブや児童館との交流はない	・機会を設ける為の時間確保が出来ていないので、今後は視野に入れ、機会を増やしていけるようしていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9	・参加が出来ていない	・機会を設ける為の時間確保が出来ていないので、今後は視野に入れ、今までよりも機会を増やしていけるようしていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時にフィードバックを行い、子どもの状況や課題に対して情報を共有している	・今後も密に情報共有が出来るように心掛けていく
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・Colorful Ring(参観・保護者会)を定期的に行っている	・今後も引き続き、行っていく	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に説明を行っている	・分かりやすい説明が出来るよう、内容をしっかりと把握し、説明が出来るようにしていく	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・事前に保護者のニーズの聞き取りを行い、子どもの特性を踏まえ作成している ・モニタリングを行い、意向の確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・同意を得ている	・子どもの状況や課題などをしっかりと説明し、同意を得ていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・その都度直ぐに対応し、面談や話をする機会を設けている	・今後も直ぐに対応を行い、支援が出来るようにしていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	0	・Colorful Ring(参観・保護者会)を定期的に行っている	・きょうだい同士での交流の機会を設けていないので、今後は視野に入れ検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・迅速に適切な対応を行っている	・今後も迅速な対応を行っていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月のカレンダーを配布し、HPにも掲載している	・様々な情報も発信していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・鍵付きのロッカーに保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・個々に合わせて配慮し、対応を行っている ・PECS等を用いて配慮を行っている	・保護者への対応は今後、必要な際に筆談などを用いて対応を行っていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・沖縄や韓国でのキャンププログラムを行っている	・今までもりも機会を増やしていけるようにしていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルの策定は出来ており、2ヶ月に1回訓練を行っている	・全職員がマニュアルをきちんと把握し、素早い判断、行動が出来るようにしていく ・保護者にもカレンダーにて実施訓練予定の記載を行い、周知していくようにする
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・BCPの策定は出来ており、2ヶ月に1回訓練を行っている	・訓練を実施し、年に1回見直しを行っている ・保護者にもきちんと周知していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・緊急連絡票に記載をしてもらい、保護者に聞き取りを行っている ・見学、契約時に聞き取りを行い、アセスメント相談受付・緊急連絡票に記入してもらっている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・緊急連絡票に記載事項があり、保護者にも聞き取りを行っている ・おやつ提供時にはアレルギー除去の対応を行っている ・指示書に基づき除去を行っている	・おやつ提供の際は最新の注意を払い、複数人で確認した上で提供していく ・昼食時、おやつ時ではアレルギー除去の子どもに対しての誤食を防ぐため、席の配置を考慮していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・カレンダー・お帳面に取り組みを記載している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットの記録を作成し、会議で共有をしている ・記録、共有を行い、改善に向けての話し合いを行っている	・再発防止に向け、話し合いを行っていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・研修を行っている ・年間研修予定に組み込まれている ・指針にて策定されている	・事業については、今後もその都度話し合うようにしていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・研修を行っている ・年間研修予定に組み込まれている ・指針にて策定されている	・事業については、今後もその都度話し合うようにしていく	